



あなたの身近な
ところにも
JAは存在します!



あなたの暮らしのいろんな場面で、あなたのチカラになりたいJAです。

JAは組合員一人ひとりの思いや願いを、自らの活動への参加や事業の利用を通じて実現する組織です。

一人ではできないことを皆で協力して実現する、組合員の組合員による組合員のための組織です。

“主役である組合員の皆さんのチカラになりたい”それが、JAの願いです。

新しく農業を始める人を
支援します

貯金や共済など、
今と将来の暮らしを支える
お手伝いをします

全国各地へ新鮮で安全な
農畜産物をお届けします

肥料・農薬等農業を
行うために役立つ様々な
資材を提供します

介護が必要になっても
住み慣れた地域で生活
できるよう支援します

生活必需品（食料・ガソリン・
プロパンガスなど）を提供します

地域に根差した
医療機関を運営し、
健康長寿のお手伝いをします

新鮮で安全な農産物を
販売する直売所を
運営します

農業技術・農業経営を
トータルで支援します

仲間づくり、健康づくり、
趣味のサークル活動を
応援します

子どもたちに食べ物と
農業の大切さを伝える
食農教育を推進します

地域のおいしい食材を
活かした農産加工品をつくる
加工所を運営します

あなたの
暮らしに
よりそう

JA
タウン

JAは、“食と農”を支えるさまざまな活動であなたを応援します。

地元の「安全・安心」な食材が食べたい。

直売所では生産者の顔が見える農畜産物の提供に力を入れています。

A・コープでは安全・安心な国産・地元産の農畜産物を主力商品として皆さんに提供します。

農畜産物は選果場等からスーパーなどを通じて新鮮なうちに食卓までお届けしています。

農畜産物加工所では、地元の食材を中心とした安全・安心でおいしい加工品をつくっています。

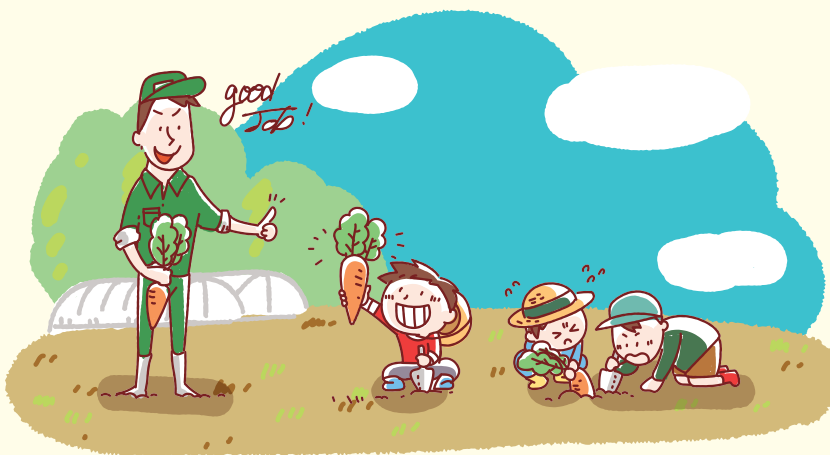
安全・安心な農畜産物をお届けするため生産履歴の記帳支援及びチェックを行います。



次世代に 豊かな地域(環境・文化)を 残したい。

子どもたちに農業・食・自然の大切さを学んでもらう農業体験教室などを行っています。

遊休荒廃農地の解消を進めるとともに、環境にやさしい農業技術の提案など農業を通した豊かな自然環境の維持に取り組んでいます。



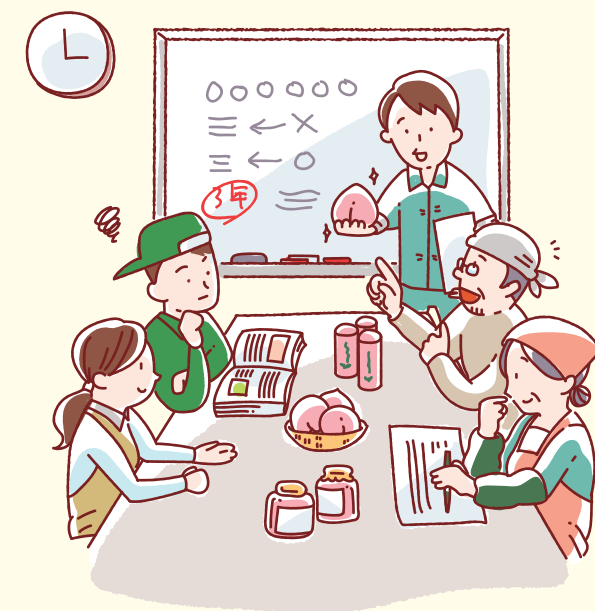
農業で生計を立てたい。

自分で食べるものは自ら作りたい。

定年までは誰かに農地管理をしてほしい。

農業者の手取りアップのため、肥料・農薬などの農業資材や農業技術の提案、販売ルートの確保、農業経営の相談・支援を行います。

新たに農業を始める人・定年してから農業を始める人などのため、就農に向けた各種農業塾などを行っています。

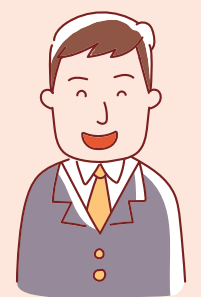


仲間と一緒に農業の レベルをアップさせたい。

品質の高い農畜産物づくりに向け、農業者の技術力を高めたり、地域にあった新しい農畜産物のブランド化や地域の特性を活かした加工品を開発するため、組合員組織などを通した相互の学習会・研修会を行っています。



マークは「ゆるぎない大地」「日本の国土」をイメージさせ、三角形は「自然」、"A"の部分は「人間」を表しています。「J」の左端の円は「農業の豊かさ」「実り」「人の和」を象徴しています。



Q JAってなに？

A JAとは「農業協同組合」の愛称で、株式会社とも行政など公の機関とも異なる“協同組合”という組織です。協同組合とは「参加するメンバー（以下、組合員といいます）が手を取り合って助けあい、力を合わせて、事業や活動を通じてみんなの願いや課題を解決する仕組み」です。

JAが大切にしているのは、農業の生産力を高めること、農業所得を向上させること、地域の農業を発展させることなど農業のことはもちろん、さらに広い意味での「農」、農村の暮らしや農業がつくる景観、そして日ごろ私たちが口にする安全な食料についても大切に考えています。

Q 株式会社とどこが違うの？

A 目的・運営の違いから見てみましょう。協同組合は、組合員の願い—例えば「おいしい農産物を作りたい」「健康で長生きしたい」—といった思いや願いを実現することが目的であり、その願いは、JAへ出資し、JAの事業を利用したり、活動に参加することによって実現することになります。一方、株式会社は最大利益を獲得し株主へ配当することが目的であり、株主が会社の事業を利用するか否かは全く関係ありません。

運営方法は、JAが一人一票であるのに対し株式会社は1株1票。つまり、株式会社の運営はお金を多く出している人の意見に左右されることになります。株式会社が“お金”中心、JAは“人”が中心であるといわれるゆえんです。この違いは、協同組合が「豊かに暮らしたいという人の願いは、誰も同じであり、人は平等である」という価値観に基づいているからにはかならないのです。

みんなで作っていく
組織なんだね。



JAは、“暮らし”のさまざまなシーンで、あなたを応援します。

豊かな将来のため、コツコツと安心を積み上げておきたい。

子どもが大きくなったとき・自らの老後に備えての貯金、新たに農業を始める・住宅を建てる・車を買う・子どもの教育などに必要な各種ローンを提供します。

大きな病気やケガに備えての生命共済、大きな地震に備えた建物更生共済、火災や事故に備えての火災・自動車共済など、将来の万が一に安心を提供します。

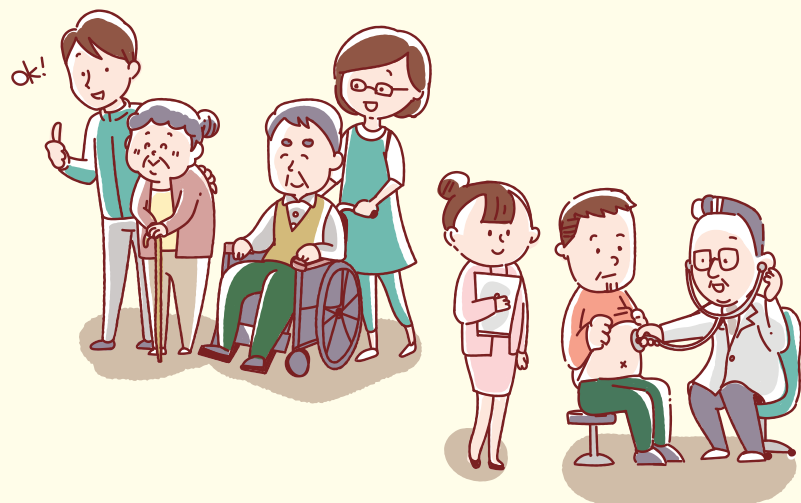


健康で、長生きしたい。

JA厚生連を中心に病院を運営し、病気の早期発見・予防のための人間ドックの受診やケガ・病気の治療を行います。

病気の予防に向けたセミナー、健康のための食事・ウォーキング等の教室などを開催しています。

介護事業を通して、体の自由がきかなくなっても住み慣れた地域で暮らせるよう皆さんのお手伝いをします。



困ったときはお互いさま。助けあって生きたい。

一人暮らしの高齢者の訪問や声掛け、家事のお手伝い、子どもたちに対する見守りパトロールなど地域ぐるみの「助けあい」活動を行っています。



仲間と一緒に楽しい時間を過ごしたい。

組合員や地域住民の交流・仲間づくり・生きがいがづくり・健康づくりなどを目的に料理教室やヨガ、ダンス講座など組合員自ら様々な活動を行っています。学習活動として、女性大学や組合員講座・農業塾などを行っています。



Q 組合員って誰でもなれるの？

A JAの事業や活動を利用したい人は、出資金を払えば、誰でも地域のJAの組合員になれます（出資金は脱退時に返還）。組合員には「正組合員」と「准組合員」があり、農業に従事し一定の要件を満たす人は正組合員、農業に従事していなくても「JAの行っている事業を利用したい」という人は准組合員として加入できます。

Q 組合員がつくる組織にはどんな組織があるの？

A JAには農家組合などの集落組織、作物別の生産者組織、青年組織、女性組織、助けあい組織や、料理・ダンス、健康・生きがいがづくりなど趣味のグループまで様々な組合員組織があります。組合員組織は、例えば「子どもたちに農業の良さを知ってほしい」といった自らの願いを活動として実現したり、JAの事業や運営に反映するという役割を担っています。

Q どうしてJAはたくさんの事業をしているの？

A JAは多くの事業を営む総合事業体の形態をとっています。それは、農業者は農業経営と生活が密接に結びついているからです。農業で得られた収入を家計に回し、生活に必要な商品の購入や貯蓄、もしもの時のための共済に加入して、さらに農業や生活のために資金を借りる、病気や家族の介護のためのサービスを利用できます。このため、JAの事業は「農業と生活を総合的に応援する仕組み」をとっています。

Q 信用とか共済ってどういう意味なの？

A 一般企業では預金や保険という言葉を使いますが、JAでは貯金・共済という言葉を使います。預金と貯金、保険と共済どちらも同じ意味ですが、誰を主役におくかという違いがこの言葉に表れています。つまり、JAでは組合員が主役（JA＝組合員）になるので、お金を貯める場合は貯金となるし、何かあった時に共に助けあうことから共済となります。肥料や農薬、Aコープの商品も組合員が購入するから購買事業と言います。



組合員の願いを実現することが協同組合の目的であると話しましたが、その願いは、経済的な願いばかりでなく社会的・文化的な願いの実現も含まれています。農産物を販売する事業、農業資材や暮らしに役立つ商品を購入する事業、信用・共済事業などJAの事業を通して経済的な願いを実現することができます。

一方、社会的・文化的な願いー子どもに豊かな地域を残したい、食や農について知ってほしい、伝統野菜・文化を継承したいなどーは、組合員が主体的に参画し、JA役職員がサポートすることによって、実現しています。組合員は、自らの願いの実現に向け、主役としてJAの事業や活動にどんどん参加してほしいものです。

JAグループ福島

JA福島中央会
JA福島厚生連
JA全農福島
JA共済連福島
農林中央金庫福島支店



JAグループ福島についてさらに詳しい情報はこちらから確認できます。

<https://www.ja-fc.or.jp/>



JAグループ福島の採用に関する最新情報はこちらから確認できます。

<https://ja-fc.or.jp/recruit/>

